



2026年9月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社マサル

上場取引所 東

コード番号 1795 URL <https://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 勝又 健

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 新井 浩

TEL 03-3643-5859

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	6,783	△10.2	353	0.6	367	0.8	215	12.9
2025年9月期第3四半期	7,552	27.3	351	81.4	364	81.6	190	78.5

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 231百万円 (13.9%) 2025年9月期第3四半期 203百万円 (67.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	242.32	—
2025年9月期第3四半期	214.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,560	5,306	62.0
2025年9月期	8,806	5,277	59.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 5,306百万円 2025年9月期 5,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	160.00	160.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期 (予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,700	0.5	450	△29.5	480	△27.1	280	△30.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	901,151 株	2025年9月期	901,151 株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	23,459 株	2025年9月期	11,558 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	888,422 株	2025年9月期3Q	888,491 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中東情勢の影響等により一部に弱めの動きがみられたものの、高水準の企業収益や安定した雇用・賃金環境等により下支えされ、緩やかな回復が続いております。先行きについては、原油価格上昇が景気の下押し要因として作用する可能性や、中東情勢の帰趨、物流への影響、海外経済の動向等に留意を要するものの、政府による各種施策の効果や原材料の代替調達進展等により、伸び率を縮小しつつも、緩やかな成長を続けるとみられております。

建設業界におきましては、国土交通省の建設工事受注動態統計調査（大手50社調査）によりますと、2026年5月の受注総額は1兆101億円（前年同月比6.7%減）となり、3か月連続で減少いたしました。民間工事は7,514億円（前年同月比5.7%減）となり、製造業は同0.3%増となった一方、非製造業は同7.5%減となりました。また、公共工事は2,067億円（同24.3%増）となりました。

建築着工統計調査によりますと、同月の新設住宅着工戸数は57,877戸（前年同月比33.9%増）となった一方、民間非居住建築物の着工床面積は230万㎡（同31.2%減）となり、事務所、店舗、工場及び倉庫はいずれも減少いたしました。

また、三鬼商事株式会社の調査によりますと、2026年5月時点の東京ビジネス地区（都心5区／千代田・中央・港・新宿・渋谷区）における平均空室率は2.07%（前月比0.13ポイント低下）となり、2か月連続で低下いたしました。平均賃料は22,845円／坪（前月比391円上昇、前年同月比9.96%上昇）となり、東京ビジネス地区では、足元で空室率の低下と賃料の上昇がみられます。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、建設需要の分野別・用途別の強弱や資材価格・労務費等の変動を踏まえ、リスク管理を前提とした合理的な受注に注力し、直接受注顧客の増強を行ってまいりました。また、グループ内での各社機能の統合や合理化への取り組みを進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は70億52百万円（前年同四半期比35.9%減）となりました。売上高につきましては、67億83百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。利益につきましては、営業利益は3億53百万円（前年同四半期比0.6%増）、経常利益は3億67百万円（前年同四半期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億15百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（建設工事業）

売上高は55億12百万円（前年同四半期比14.9%減）となり、セグメント利益は2億68百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。受注高につきましては、64億81百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

（設備工事業）

売上高は12億71百万円（前年同四半期比18.2%増）となり、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比90.1%増）となりました。受注高につきましては、5億71百万円（前年同四半期比86.5%減）となりました。

なお、当社グループは、完成工事物件の引渡ししが第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中するため、四半期連結会計期間の売上高には季節的変動があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資 産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は64億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少いたしました。これは主に完成工事未収入金が減少したことによるものであります。固定資産はのれんの償却等により21億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少いたしました。

この結果、総資産は85億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円減少いたしました。

(負 債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少いたしました。これは1年以内返済予定の長期借入金が減少したことによるものであります。固定負債は長期借入金の返済等により5億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は32億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億75百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は53億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.0%（前連結会計年度末は59.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,364,809	3,355,981
受取手形	24,100	6,580
電子記録債権	343,061	284,568
完成工事未収入金	1,210,812	198,507
契約資産	539,644	1,063,827
未成工事支出金	860,006	1,178,080
材料貯蔵品	12,173	23,415
その他	201,255	337,283
貸倒引当金	△1,024	△576
流動資産合計	6,554,839	6,447,668
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	623,577	611,558
土地	547,608	547,608
その他（純額）	35,984	41,007
有形固定資産合計	1,207,170	1,200,174
無形固定資産		
のれん	328,145	262,517
ソフトウェア	5,750	7,776
その他	5,216	4,029
無形固定資産合計	339,112	274,323
投資その他の資産		
投資有価証券	165,399	190,400
繰延税金資産	154,403	59,455
その他	458,126	460,923
貸倒引当金	△72,350	△72,350
投資その他の資産合計	705,578	638,428
固定資産合計	2,251,860	2,112,926
資産合計	8,806,700	8,560,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	567,304	529,833
電子記録債務	223,194	250,634
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	276,242	218,904
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	190,708	11,353
契約負債	821,946	1,130,442
賞与引当金	253,907	71,255
役員賞与引当金	69,124	28,410
完成工事補償引当金	7,353	38,407
工事損失引当金	57,723	68,862
その他	269,857	232,958
流動負債合計	2,833,360	2,727,062
固定負債		
社債	510,000	438,000
長期借入金	127,516	34,550
その他	58,378	54,553
固定負債合計	695,894	527,103
負債合計	3,529,255	3,254,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,269,981	1,275,053
利益剰余金	3,111,670	3,184,616
自己株式	△34,123	△99,636
株主資本合計	5,233,225	5,245,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,218	60,698
その他の包括利益累計額合計	44,218	60,698
純資産合計	5,277,444	5,306,429
負債純資産合計	8,806,700	8,560,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
完成工事高	7,552,139	6,783,197
完成工事原価	6,123,925	5,390,432
完成工事総利益	1,428,213	1,392,765
販売費及び一般管理費	1,076,893	1,039,229
営業利益	351,320	353,535
営業外収益		
受取利息	283	1,520
受取配当金	1,804	2,242
受取賃貸料	3,260	3,919
技術指導料	8,187	9,155
保険解約返戻金	5,989	5,260
その他	2,596	2,846
営業外収益合計	22,122	24,946
営業外費用		
支払利息	8,219	9,855
その他	320	649
営業外費用合計	8,540	10,505
経常利益	364,902	367,976
特別損失		
工事関連対応費	34,650	—
特別損失合計	34,650	—
税金等調整前四半期純利益	330,251	367,976
法人税、住民税及び事業税	93,879	65,333
法人税等調整額	45,623	87,362
法人税等合計	139,502	152,695
四半期純利益	190,749	215,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,749	215,280

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	190,749	215,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,683	16,479
その他の包括利益合計	12,683	16,479
四半期包括利益	203,432	231,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,432	231,760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	設備工事業	合計		
売上高					
一時点で移転される財またはサービス	2,930,752	467,430	3,398,183	—	3,398,183
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	3,545,774	608,181	4,153,955	—	4,153,955
顧客との契約から生じる収益	6,476,527	1,075,611	7,552,139	—	7,552,139
外部顧客への売上高	6,476,527	1,075,611	7,552,139	—	7,552,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,620	1,620	△1,620	—
計	6,476,527	1,077,231	7,553,759	△1,620	7,552,139
セグメント利益	307,341	44,247	351,588	△268	351,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△268千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	設備工事業	合計		
売上高					
一時点で移転される財またはサービス	2,587,372	474,985	3,062,357	—	3,062,357
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	2,924,781	796,058	3,720,839	—	3,720,839
顧客との契約から生じる収益	5,512,154	1,271,043	6,783,197	—	6,783,197
外部顧客への売上高	5,512,154	1,271,043	6,783,197	—	6,783,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,512,154	1,271,043	6,783,197	—	6,783,197
セグメント利益	268,317	84,095	352,413	1,122	353,535

(注) 1. セグメント利益の調整額1,122千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式15,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が75,429千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が99,636千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	20,881千円	28,154千円
のれんの償却額	65,628	65,628